自新

懐中良薬

百花

一名聲の出る薬

効能及服用法

第一　気附　酒飲　酒毒　中暑　中寒　霍乱　頭痛　眩暈
胃弱　衰弱　気鬱　怒心　胸痛　腹痛　下痢　虚腹
欠伸　痰嗽　逆上　癇　舟車酔　酒宿酔

定價
大包　金拾銭入
小包　金七銭入

○気附　聲を発し口中に涎を吹き出し目を覆ひ口中暑○中寒○頭痛○眩暈○逆上○婦人血の道等ハ七分程の服用よろしし

○酒飲○酒毒○食傷○悪心○舟車の酔等ハ五分程用ゆるハ忽ち精神爽快なり

○気附○癇○霍乱○胸腹痛○嘔吐○下痢○虚腹等ハ拾分程ハ拾分

○毎朝吉ハ五分程の服用して後白湯を激しく飲ませ暫時に強ければ下ス熱悪臭等を患を除く効あり

○食後ハ三分程の用ゆるハ消化を助け其他胃腸の養を保て心地よく

○胃伸　物忘れ　倦怠　疲労　動作ものうく

○けん気ハ弱く及び気血動作ものうく

○夏暑の物に常ハ三分程用ゆるハ諸感冒病等を防ぎ身を強し

○中風の霊薬ハ三分程を白湯にて解き用ゆるし

○音聲枯渇の人常ハ三分程を用ゆるハ咽喉を潤し美音を発する事妙なり

○毒を化し芳香を放つ懐中まハ衣類に中ハ入るとおけハ浸毒を除ひ香気を発し珍重すべき旨ひ物なり

右の効能ハ功能を讀て服用ゆるまハ功能ハ虎

服用の程度上ハ教白

嘔言人参龍眼肉圓及神雪紅雪の如く味ハ百花の水の経験

東京市日本橋区室町四丁目拾壱番地
本店　林　福六　謹製

捆製所
翠堂園
日本橋区大伝馬町拾壱番地
藤居　甚之輔

元壽弘所
浅草区北三筋町拾壱番地
園生　清次郎

懐中良薬 百花 一名聲の出る薬　文庫10-8011-48
早稲田大学図書館蔵／Waseda University Library